



# 第4回「おたる案内人」検定試験問題 1級・2級 共通問題

2008年11月9日

小樽観光大学校

\*合格発表は下記のホームページでご確認できます。

\*URL:<http://www.otaru-kd.com/>

各設問で選択問題は1～4の番号で、また記述問題は該当する語句を解答用紙に記入しなさい。(制限時間90分)

問1

現在の小樽の開基は元治2(1865)年(初版テキストでは慶応元年の表記)で、「村並」となりましたが、それ以前、この地域は3つに分かれ、ふたりの商人が経営していました。その経営していた範囲を総称して何というのでしょうか。

問2

鯨は単なる食用のみならず肥料として高い価値を持っていました。その「高さ」から、鯨は何と称される商品だったのでしょうか。

問3

開拓使が「小樽郡」を設置した年は何年ですか。海官所が設置された年と同じです。

1. 明治2年    2. 明治5年    3. 明治10年    4. 明治32年

問4

幌内の石炭を輸送するため、鉄道が敷設されます。手宮～札幌間が開通したのは明治13年ですが、幌内まで開通したのは明治何年でしょうか。

問5

開拓使はお雇い外国人の力を借りて開拓を進めていこうとしていました。その外国人の中で、幌内炭田の発見で大きな業績をあげた人物はだれでしょうか。

1. エドウィン・ダン                      2. ホーレス・ケプロン  
3. ジョセフ・U・クロフォード    4. ベンジャミン・S・ライマン

問6

明治から大正時代にかけて、小樽には財力のある商人が数々登場し、公共事業や寄付で小樽に貢献します。その中で公会堂を寄贈した人物を次の中から選びなさい。

1. 土肥太吉    2. 木村圓吉    3. 藤山要吉    4. 寿原外吉

問7

小樽の観光名所となっている運河沿いにはいくつかの石造倉庫が偉容を保っていますが、運河ができた大正12年に建てられたのは次のうちどれでしょうか。

1. 小樽倉庫    2. 右近倉庫    3. 高橋倉庫    4. 大家倉庫

問8

小樽から積丹半島沿岸各地で鯨漁が最も盛んに行われていた時代は次のどれでしょうか。

1. 江戸時代から明治時代    2. 江戸時代から大正時代  
3. 大正時代から昭和初期    4. 明治時代から昭和初期

問9

鯨漁の小樽での最高漁獲高は約7万5,000石ですが、その年は何年でしょうか。

1. 大正3年    2. 大正12年    3. 大正14年    4. 大正15年

問10

祝津地区の鯨漁、3大漁家のうち山形県出身の漁家は青山家ともう一つは何家でしょうか。

1. 金子家    2. 田中家    3. 猪俣家    4. 茨木家

問11

江戸時代、他に比べるものがない好漁場と呼ばれた小樽を含む中場所の範囲を以下から選びなさい。

1. 歌棄から厚田まで    2. 磯谷から歌棄まで  
3. 忍路から高島まで    4. 積丹から厚田まで

問12

オタルナイ場所とタカシマ場所の境界は次のどれでしょうか。

1. 山中    2. 於古発川（妙見川）    3. 手宮川    4. 高島岬

問13

高島岬中腹に建つ「鯨御殿」は漁家の田中家住宅を昭和33年に移築したものです。この移築はある会社の記念事業のひとつとして行われました。その会社名は何といますか。

問14

建網に関する次の文章の空欄に入る数字を選びなさい。

「建網は明治21（1888）年には全道で2,700統を越え、後志地方が（        ）統と圧倒的に多かった。」

1. 2,522    2. 1,922    3. 1,452    4. 452

問15

鯨漁の写真です。この作業の際、うたわれる沖揚げ音頭を何と言うでしょうか。



問16

鯨漁は事前の準備がすべて終え、鯨が来るのを待つだけになると大宴会が行われます。この宴会を何といますか。

問17

江戸時代後半から肥料の主体となった鯨の搾粕（メ粕）でしたが、その後あらわれたライバル肥料は「大豆粕」ともう一つは何でしょうか。

問18

江戸中期から明治後期くらいまで小樽に来た商人は上り荷（大阪へ運ぶ荷物）にメ粕・昆布・イリコ・ホシアワビなどを積んで船で運びながら商いをしましたが、その船のことを何と呼んだのでしょうか。

1. 菱垣廻船    2. 樽廻船    3. 北前船    4. 蒸気船

問19

江戸時代元禄の頃、京都や大阪から持ち下った品物を、江戸では何と称していたのでしょうか。

問20

北前船は菱垣廻船や樽廻船のように「運賃積み」ではなく、各地で買い集めたものを高く売れる土地へ運んで売るとい手法で航海しました。このことを何といますか。

問21

北陸地方の北前船の船乗り達には「切出し」「帆待ち」と呼ばれたビジネスがあり、得たお金を蓄えていきました。その意味は次のどれでしょうか。

1. 船乗りの判断で積荷が高く売れるまで船から降ろさないうで、売れたら、差額をもらうことができる  
2. 積荷の約1割を自由に売買でき、自分の収入にできる  
3. 積荷の買い手から直接リベートをもらうことができる  
4. 積荷を船主を通さず決める事ができ、売れた利益の1割をもらうことができる

問22

小樽には「小樽商人」とか「樽僑」と称される巨万の富を築いた商人が数多くいます。その彼らの出身地によりこんな俗諺があります。空欄に語句を入れなさい。

\*地均近江 種蒔松前 ( ) 加賀 刈取越後

問23

現在の運河プラザや博物館運河館などが入っている小樽倉庫を建てたのは西出孫左衛門と西谷庄八ですが、この二人の出身地はどこでしょうか。

1. 近江 2. 越後 3. 松前 4. 加賀

問24

現在の堺町通りにある「おたる瑠璃工房」は加賀出身の北前船主の商店事務所でした。この北前船主の名前は何かといえますか。

問25

明治27年に小樽倉庫は建てられますが、当時は倉庫の前は運河ではなく海岸でした。寄港する船にとって屋根の上に掲げられた鯨は十分な目印になったと思われませんが、鯨にはどんな意味があるのでしょうか。

1. 火伏せ 2. 魔よけ 3. 商売繁盛 4. 千客万来

問26

江戸時代中期から二人の商人が鯨を資源とした商いをしていました。オタルナイ場所の岡田弥三右衛門ともう一人オショロ、タカシマ場所を請け負っていた西川伝右衛門でした。この二人の出身地域はどこでしょうか。

1. 加賀 2. 越後 3. 松前 4. 近江

問27

「北の誉酒造」にゆかりのある商人は次のどれでしょうか。

1. 山田兵蔵 2. 石橋彦三郎 3. 西川伝右衛門 4. 山本久右衛門

問28

堺町通りにある歴史的建造物「カリオン」は、かつて新聞「北門新報」の印刷所でした。ここを経営していた商人はどれでしょうか。

問29

明治28年に小樽商業会議所発起人会がスタートした時の初代会頭、第2代小樽区長を務めた商人はどれでしょうか。

問30

日露戦争に船を供出し、戦勝によって莫大な補償金を手にし「船成金」の異名を持った大商人が二人いました。板谷宮吉ともう一人は誰でしょうか。

1. 山本厚三 2. 渡辺兵四郎 3. 金子元三郎 4. 藤山要吉

問31

高橋直治は大正3年に勃発した第一次大戦時にある物を買占め、戦地の英国に売って巨万の富を築き、異名がつけられました。何と呼ばれたでしょうか。

問32

現在の「海猫屋」は、かつてある商人の倉庫でした。この商人が経営していた農場での小作争議が小林多喜二の作品のモデルとなりました。この作品名は何といえますか。

問33

明治12年に第四十四国立銀行の小樽支店に赴任し、同18年には日本郵船会社の石巻支店長となり、以後、小樽で金子元三郎、板谷宮吉、寺田省帰、遠藤又兵衛、藤山要吉らとの親交を通じて様々な事業を展開した人は誰でしょうか。

1. 高橋直治 2. 岡崎 謙 3. 磯野 進 4. 倉橋大介

問34

現在の小樽港はわが国における海上輸送網の拠点として位置づけられている港で、国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点となる港湾です。道内には函館港や釧路港など10港あります。この港湾のことを何といいますか。

問35

小樽港は明治22年、米、麦、麦粉、石炭、硫黄の5品目に限り日本船または日本人雇用の外国船により輸出ができる港として指定されました。これを何といいますか。

問36

北海道遺産や土木学会の選奨土木遺産に認定されている小樽港北防波堤は当時の土木技術の粋を集めて建設されました。その延長は何メートルでしょうか。

1. 245m    2. 912m    3. 1,289m    4. 2,007m

問37

日本で初めての本格的な外洋防波堤建設であった、小樽港の北・南防波堤の技術的特徴で誤っているものはどれですか。

1. 波の力に耐えるための北防波堤のコンクリートブロック斜め積み
2. 防波堤に使われているコンクリートの百年耐久試験
3. 南防波堤建設で採用されたはじめての進水方式のケーソン（函塊）製作
4. 波の力を弱めるための五角形の穴の開いた石積み防波堤

問38

小樽の港づくりには忘れてはならない3人の技術者がいます。生みの親といわれる廣井勇。育ての親といわれる伊藤長右衛門。そして防波堤の基礎となる石積み工事の監督指揮を行い、若くして命を落とした人物とはだれでしょうか。

問39

北海道ではじめての長距離フェリー航路が小樽と舞鶴、敦賀を結んだのはいつでしょうか。

1. 1935（昭和10）年    2. 1950（昭和25）年  
3. 1970（昭和45）年    4. 1982（昭和57）年

問40

北海道の鉄道システムは本州がイギリスのシステムを導入したのに対し、アメリカのものを採用します。では北海道最初の軌道であった茅沼炭鉱のシステムはどこ国の技師が導入したのでしょうか。

1. アメリカ    2. イギリス    3. ドイツ    4. フランス

問41

北海道の最初の鉄道、幌内鉄道建設のために設けられた開拓使の拠点はどれでしょうか。

1. 煤田開採事務掛    2. 鉄道省    3. 開発局    4. 工部省鉄道局

問42

幌内鉄道開通（手宮－札幌間）当時の停車場は数も少なく、簡単な設備しかありませんでした。開通当初、手宮を出た列車が次に停車した駅（停車場）の当時の名前はどれでしょう。

1. 開運町    2. 軽川    3. 銭函    4. 朝里

問43

明治13年クロフォードが買い付けた鉄道資材を積んだ船が手宮棧橋に着岸しました。この船の名前は何といいますか。

問44

幌内鉄道につづいて明治20年に開通した北海道2番目の釧路鉄道（標茶－跡佐登）は何を運ぶために敷設されたのでしょうか。

1. 石炭    2. 硫黄    3. 木材    4. 鯨



問45

幌内鉄道には8両の蒸気機関車が導入されました。現在、小樽市総合博物館にはその内の1両、6号機関車が保管されています。その名前は何とといいますか。

問46

空欄に該当する語句を記入しなさい。

明治の時代に港の整備方法をめぐって大論争があったときに、廣井勇は「( )を利用した運河式の方が便利である」と指摘しました。

問47

昭和48(1973)年12月に、このまま道路建設が進み運河が埋め立てられれば「小樽が小樽でなくなってしまう!」という思いから、保存運動の発起人会が発足します。その会の名称を何とといいますか。

問48

上記の設問(問47)のきっかけとなった、運河を埋め立てて幹線道路をつくる計画が決まったのはいつのことでしょう。

1. 大正12(1923)年
2. 昭和27(1952)年
3. 昭和41(1966)年
4. 昭和48(1973)年

問49

東京大学の西村先生が小樽で行われた講演で、「小樽運河保存運動の5つの特徴」として指摘されたものに含まれていないものは次のどれでしょうか。

1. 単なる反対運動ではなく「対案提起」の運動
2. まちなみ保存運動の「教科書」となった運動
3. 日本のモデル事業の政策転換のきっかけをつくった運動
4. 小樽の観光価値を高めた運動

問50

明治37年、現在の稲穂2丁目から出火した火の手は手宮まで及ぶ大火になりました。それを契機に市街地の主要な建物の構造は、防火の工夫を施す石造りに変わりました。さて、数多く建てられた石造りの構造は、何と呼ばれているのでしょうか。

問51

明治10年代、小樽の庶民の住宅は簡易な木造で建てられていました。その特長は次のどれでしょうか。

1. 茅葺き屋根の建物
2. 石置き屋根の建物
3. 瓦屋根の建物
4. トタン屋根の建物

問52

手宮に明治13年から建設した鉄道施設は木造で西洋風の外観でした。その特長は外壁の板の張り方が下見板張りであること、もう一つ窓にありました。どんな窓だったのでしょうか。

問53

旧手宮機関車庫(手宮、明治18年)は、わが国最古のれんが造の機関車庫です。この建物を設計した中心人物は、アメリカのレンセラー工科大学に留学し開拓使の技術者になりました。この技術者とはだれでしょうか。

問54

上記の設問(問53)の技術者は、手宮で機関車庫を建築した経験を活かし、札幌でもある建物を設計しました。その建物とは何でしょうか。

1. 豊平館
2. 北海道庁旧本庁舎
3. 旧北海道庁立図書館
4. 旧札幌控訴院

問55

小樽は工部大学校造家科（現、東京大学工学部建築学科の前身）の第一期卒業生4人の内3人の設計した建物が現在も残る貴重なまちです。その3人とは佐立七次郎、辰野金吾ともう一人はだれでしょうか。

問56

次の文章は、ある建物の特長を書いています。建物名は何でしょうか。

「本屋は外壁を石で造り、2階の貴賓室と会議室を華やかなデザインのシャンデリアや壁紙（金唐皮紙）で装飾しています。」

1. 日本銀行旧小樽支店
2. 旧三井銀行小樽支店
3. 旧北海道拓殖銀行小樽支店
4. 旧日本郵船(株)小樽支店

問57

旧岡崎家能舞台（花園5丁目）は、小樽市内で唯一の能舞台であり、かつ全国の能舞台の中でも貴重な建物といわれています。

その理由として、間違っているのはどれでしょうか。

1. 明治期に建てられた。
2. 狩野派の絵師によって鏡板の絵が描かれた。
3. 創建時は、個人の住宅の中庭に建てられた。
4. 佐渡や九州の木材が使われた。

問58

大正10年代より、わが国の主要な建築に鉄筋コンクリート造が採用され始めました。

次の大正末から昭和初期の建物で、主な構造に鉄筋コンクリート造を用いなかったのはどれでしょうか。

1. 旧三菱銀行小樽支店
2. 旧三井銀行小樽支店
3. 旧第一銀行小樽支店
4. 旧北海道拓殖銀行小樽支店

問59

運河の北側に位置する北海製罐の建物は、いつから、どんな構造で建て始められたのでしょうか。

次の組み合わせで正しいのはどれでしょうか。

1. 明治期・れんが造
2. 明治期・木骨石造
3. 大正期・鉄筋コンクリート造
4. 大正期・鉄骨造

問60

昭和初期に小樽の公共建築は、コンクリートを用いて建てられました。小樽駅（稲穂、昭和9年）と小樽市庁舎（花園2丁目、昭和8年）は、その代表例です。

この2つの建物の共通点は、何でしょうか。

1. 設計者が同じである。
2. 柱の上にギリシア建築で用いた彫刻模様が施されている。
3. 正面の外観が左右相称になっている。
4. 建築工事を担当した施工者が同じである。

問61

旧三井銀行小樽支店（色内、昭和2年）は外壁に花崗岩を積み、アーチを連続させ軒を装飾するデザインで統一されています。この建築様式を何といいますか。

問62

小樽の歴史的建造物は移築や改築によってさまざまな用途に転用されています。

その先駆けとなった建物は次のどれでしょうか。

1. 銀行
2. 石造倉庫
3. 商家、民家
4. 鯨漁家、番屋

問63

平成4年に小樽で活躍する職人が「職人業の継承」や「共同研究開発」を目的に設立した組織名は何というでしょうか。

1. 小樽職人学会
2. 小樽職人の会
3. 北海道職人の会
4. 小樽職人会議

問64

小樽には現在、職人の技を伝える活動をしているNPO法人があります。市内外の小中学校生に体験学習を積極的に行っている団体名は次のどれでしょうか。

1. 北海道職人義塾大 schools
2. 小樽職人義塾大 schools
3. 北海道職人養成大 schools
4. 小樽職人養成大 schools

問65

オルゴールの歴史はシリンダー型のオルゴールからはじまりました。スイスのジュネーブで時計職人アントワヌ・ファーヴルによって世に出されたのがはじまりといわれていますが、それはいつ頃だったのでしょうか。

1. およそ100年以上前
2. およそ200年以上前
3. およそ300年以上前
4. およそ400年以上前

問66

明治34年に設立された浅原硝子は道内の硝子器製造業界の草分けですが、製造していた製品で有名なものは何でしょうか。

問67

大正・昭和初期に三浦鮮治と兼平英示が中心となり活発な美術運動を展開します。その美術団体は何といいますか。

問68

次の4枚の絵画の内、中村善策の作品は何番でしょうか。

1.



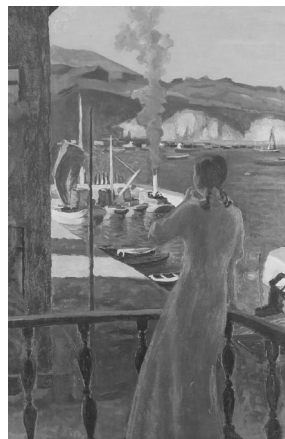
2.



3.



4.





問69

戦前、小樽に重要な版画家が二人かかわっていました。ひとは棟方志功ですが、もうひとり世界的に著名な版画界の巨匠で、東北から移住し小樽に10年間住み続け、戦後の版画ブームの火付け役となった版画家は次の誰でしょうか。

1. 斎藤 清    2. 川上澄生    3. 笹島喜平    4. 畦地梅太郎

問70

小樽在住で国際的にも高い評価を受けている版画家です。モノタイプ版画で注目を浴びました。この版画家は誰でしょうか。

1. 斎藤 清    2. 金子誠治    3. 河野 薫    4. 一原有徳

問71

石川啄木の「かなしきは小樽の町よ／歌ふことなき人々の／声の荒さよ」という短歌が収められた、明治43年出版された歌集の名前は何といますか。

問72

並木凡平が主張した短歌のモットーは次のどれでしょうか。

1. 清貧主義    2. 短歌革新    3. 生活即短歌    4. リアリズム尊重

問73

大正8年、小樽高商俳句会緑丘吟社のあるメンバーの父親が小樽を訪問、青年たちを感激させました。その人物は誰でしょうか。

1. 夏目漱石    2. 中江兆民    3. 幸田露伴    4. 高浜虚子

問74

ある作家の碑文の一部です。この文学碑がある場所はどこでしょうか。

「冬が近くなるとぼくはそのなつかしい国のことを考えて深い感動に捉えられている そこには運河と倉庫と税関と棧橋がある そこでは人は重っ苦しい空の下を どれも背をまげて歩いている……」

1. 水天宮境内    2. 小樽公園    3. 住吉神社境内    4. 旭展望台

問75

伊藤整の著書でないものはどれでしょうか。

1. 幽鬼の街    2. 不在地主    3. 鳴海仙吉    4. 火の鳥

問76

1846年、小樽沖で見た自然現象を称して「高島おぼけ」と呼びました。さて、この北方探検家の名前は何といますか。

問77

榎本武揚の雅号に由来する、小樽の中心市街地にある通り名を何といますか。

問78

「小樽市の鳥」に制定されているこの鳥は、張碓海岸の恵比須島周辺に飛来し、海水を飲む珍しい習性があります。この鳥の名前は何といますか。

問79

小樽の地形の特徴を表した文章です。( ) 内に当てはまるのはどれでしょうか。

西には突き出した忍路半島、赤岩の山々が続き、その先には灯台のある ( A ) が北に突き出しています。東には ( B ) が張り出しています。

- A    1. 祝津岬    2. 高島岬    3. 茅柴岬    4. オタモイ岬

- B    1. 平磯岬    2. 張碓岬    3. 築港岬    4. 弁天岬

問80

小樽市が平成11年より製造しているボトルドウォーター「小樽の水」はどこの川の水を原材料としているのでしょうか。

1. 朝里川
2. 勝納川
3. 小樽内川
4. 塩谷川

問81

「小樽八区八景」の、ある地区についての説明です。どこの地区でしょうか。

「北海道海水浴場発祥の地として夏場に道内有数の賑わいを見せる海水浴場があります。また埋蔵文化財が発掘され、古代の歴史を感じさせる地区でもあります。」

1. 桜・朝里地区
2. オタモイ・赤岩地区
3. 銭函地区
4. 蘭島・忍路地区

問82

小樽の歴史と風土に調和した都市景観をつくり出している建築物や活動などを表彰する「小樽市都市景観賞」で昭和63年、第1回受賞は、北一硝子三号館、(株)丸市後藤商店、小樽運河散策路、おたる潮まつりともう一つは何でしょうか。

1. 小樽運河工芸館
2. 小樽郵便局
3. ホテルノルド小樽
4. オーベルジュ・セ・ラ・セゾン

問83

大正11年、市制施行で新しく出来た小樽の町名です。「明けがた」という意味の町名は何というのでしょうか。

問84

小樽の人口は道内で上位7番の中に位置します。(平成19年12月末)1位から3位までは札幌市、旭川市、函館市の順です。4位から7位までの順で正しいのはどれでしょうか。

1. 釧路ー帯広ー苫小牧ー小樽
2. 帯広ー苫小牧ー釧路ー小樽
3. 帯広ー釧路ー苫小牧ー小樽
4. 釧路ー苫小牧ー帯広ー小樽

問85

小樽の教育は明治6年、小樽群教育所開設で始まりました。

この場所は現在の小学校名でいうと、どこの小学校でしょうか。

1. 色内小学校
2. 量徳小学校
3. 稲穂小学校
4. 長橋小学校

問86

小樽市内の「市場」の説明をしています。どこの市場でしょうか。

「大正6年に開設された小樽で最初の市場です。中には大正時代から営業している老舗の鮮魚店もあります。」

1. 入船市場
2. 妙見市場
3. 中央市場
4. 手宮市場

問87

小樽市内酒造会社4社の創業年の古い順に左から並べています。

正しいのは次のどれでしょうか。

1. 北の誉酒造／曲イ田中酒造／山二わたなべ／雪の花酒造
2. 曲イ田中酒造／北の誉酒造／雪の花酒造／山二わたなべ
3. 山二わたなべ／曲イ田中酒造／北の誉酒造／雪の花酒造
4. 雪の花酒造／山二わたなべ／北の誉酒造／曲イ田中酒造

問88

次のうち、指定有形文化財ではないものはどれでしょうか。

1. 木造五百羅漢像
2. 小樽市鯉御殿(旧田中家住宅)
3. 日本銀行旧小樽支店
4. 岡崎邸能舞台

問89

小樽には神社がたくさんありますが、その創建に関わった人物で榎本武揚は龍宮神社、では場所請負人の西川伝右衛門が創建した神社といえ次のどれでしょうか。

1. 塩谷神社    2. 忍路神社    3. 高島稲荷神社    4. 豊足神社

問90

後志管内は1市13町6村で構成されています。村名には泊村、真狩村、留寿都村、島牧村、赤井川村とあと一つは何村でしょうか。

問91

下記文章の各空欄を、それぞれ同じ符号の項目4つのうちから適切なものを選びなさい。

小樽の素晴らしい「観光」という資源を案内するには、ビジネススケールではなく（ A ）での（ B ）溢れる対応が、とても重要で不可欠である。（ B ）とは、思いやり・感謝・おもてなし・癒し・他人への優しさなどを意味する言葉です。

一人一人の個を尊重し、相手の（ C ）を考え、相手の（ D ）を感じ取れる（ E ）ともいえます。

A : 1. サービススケール    2. オリジナルスケール  
3. ヒューマンスケール    4. ワールドスケール

B : 1. 笑顔    2. サービスマインド    3. 愛情    4. ホスピタリティ

C : 1. 行動    2. 立場    3. 予定    4. リスク

D : 1. 痛み    2. 必要性    3. 重要性    4. 嗜好

E : 1. 感性    2. 心のあり方    3. 品格    4. 対応のあり方

問92

空欄に該当する語句を記入しなさい。

観光産業に直接従事していないとしても、私たちは、一人一人が市民として、小樽という観光を形づくる（ ）です。

問93

空欄に該当する語句を記入しなさい。

観光客に対しては、どこでもどんなときも誰にでも、心のこもった笑顔と、ちょっとした声がけは最小にして最大の（ ）です。

問94

空欄に該当する語句を記入しなさい。

全ての販売・購買行為は（ A ）と（ B ）のバランスで成り立っています。小樽観光は定着しつつあり、観光客も定着しつつある中で、（ A ）と（ B ）の接点に立つのがガイドの皆様方の役割になるのです。